



# 真庭市第5次男女共同参画基本計画 (あいプラン・まにわ)

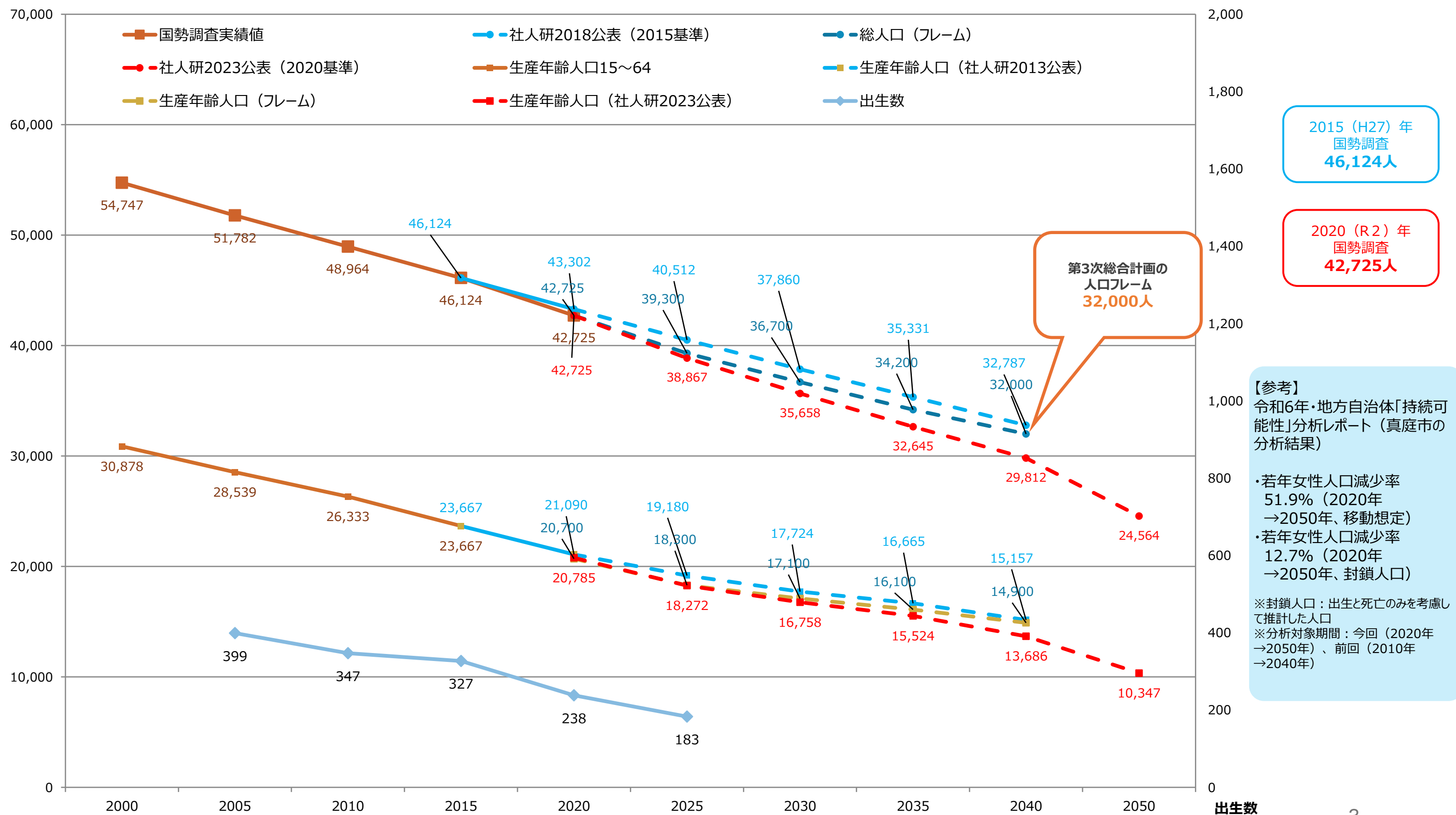
## 資 料

# 目次

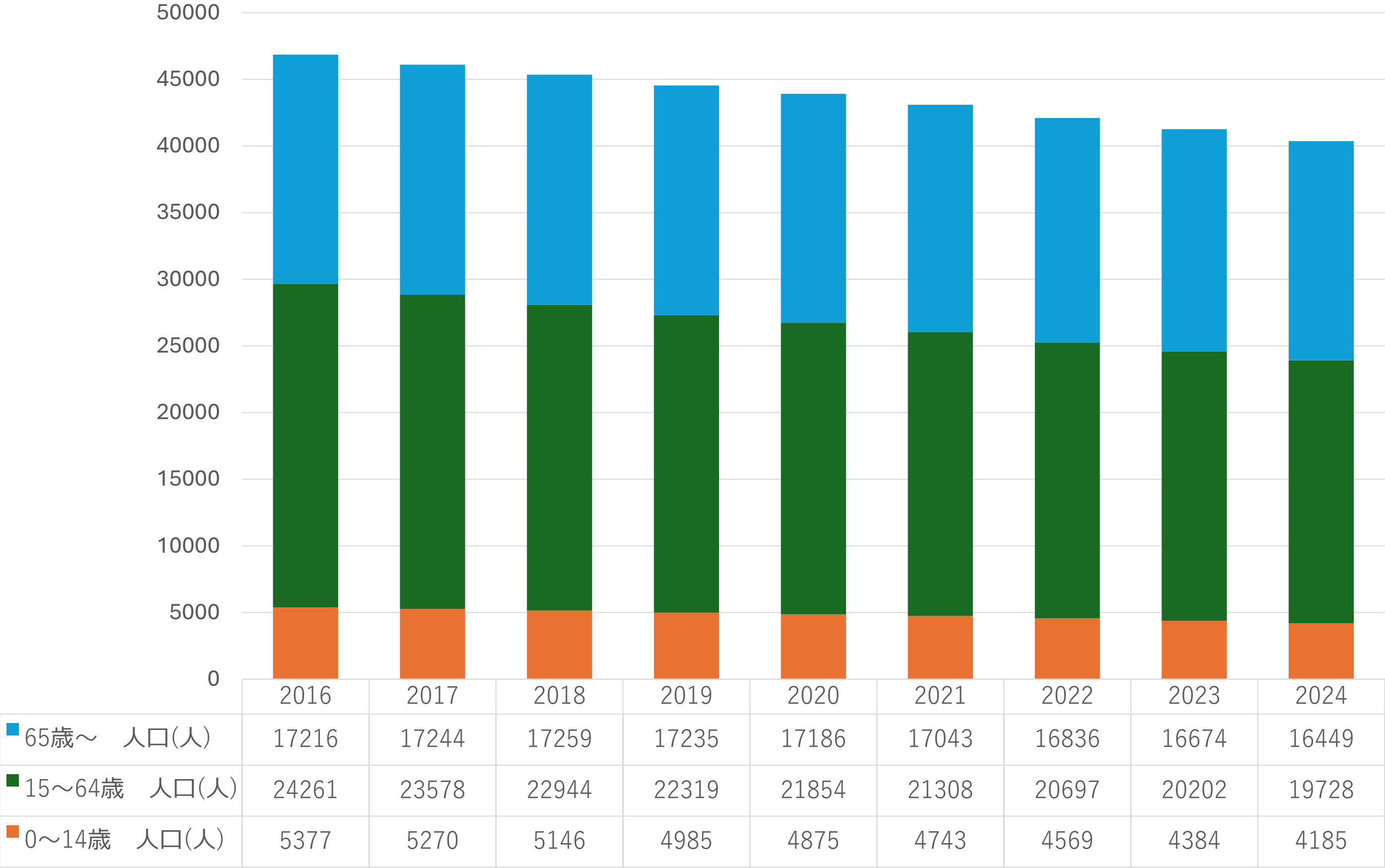
## ～大きなかぶの物語に例えて～

- **計画の趣旨** 計画書P.2 … **P.3～**
  - ・ 真庭市の少子化・人口減少の状況
- **現状と課題** 計画書P.3・P.4 … **P.8～**
  - ・ インタビューの調査対象
  - ・ インタビューの概要
  - ・ 男女共同参画の様々な課題
  - ・ 真庭の潜在的な魅力、活力
- **基本目標と目指す姿** 計画書P.5・P6 … **P.18～**
  - ・ 真庭の「かぶ」：男女共同参画の目指す姿
- **重点施策** 計画書P7・P8 … **P.20～**
- **推進体制 評価と見直し** 計画書P.9・P10 … **P.23～**

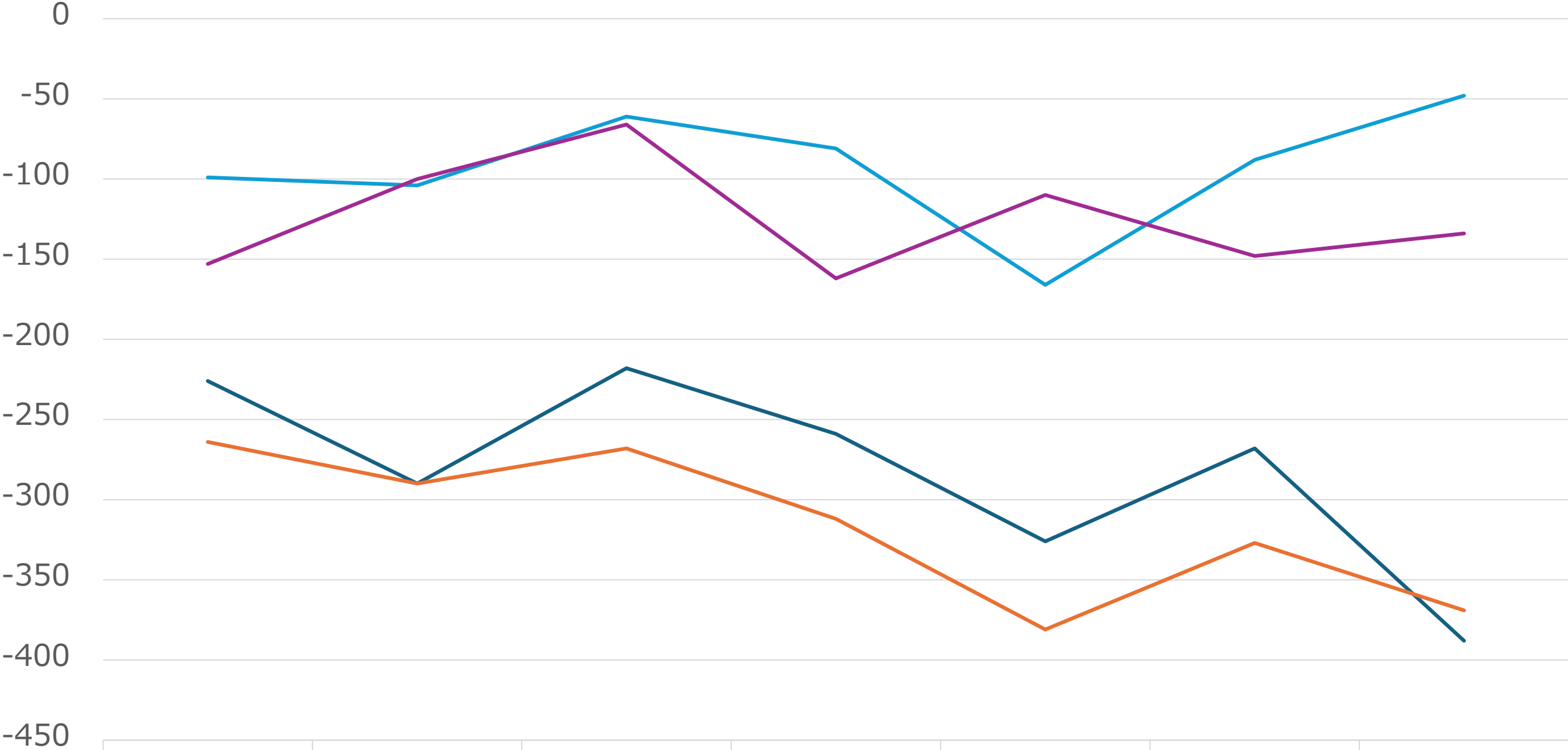
# 真庭市の少子化・人口減少の状況



人口及び労働力（住民基本台帳）

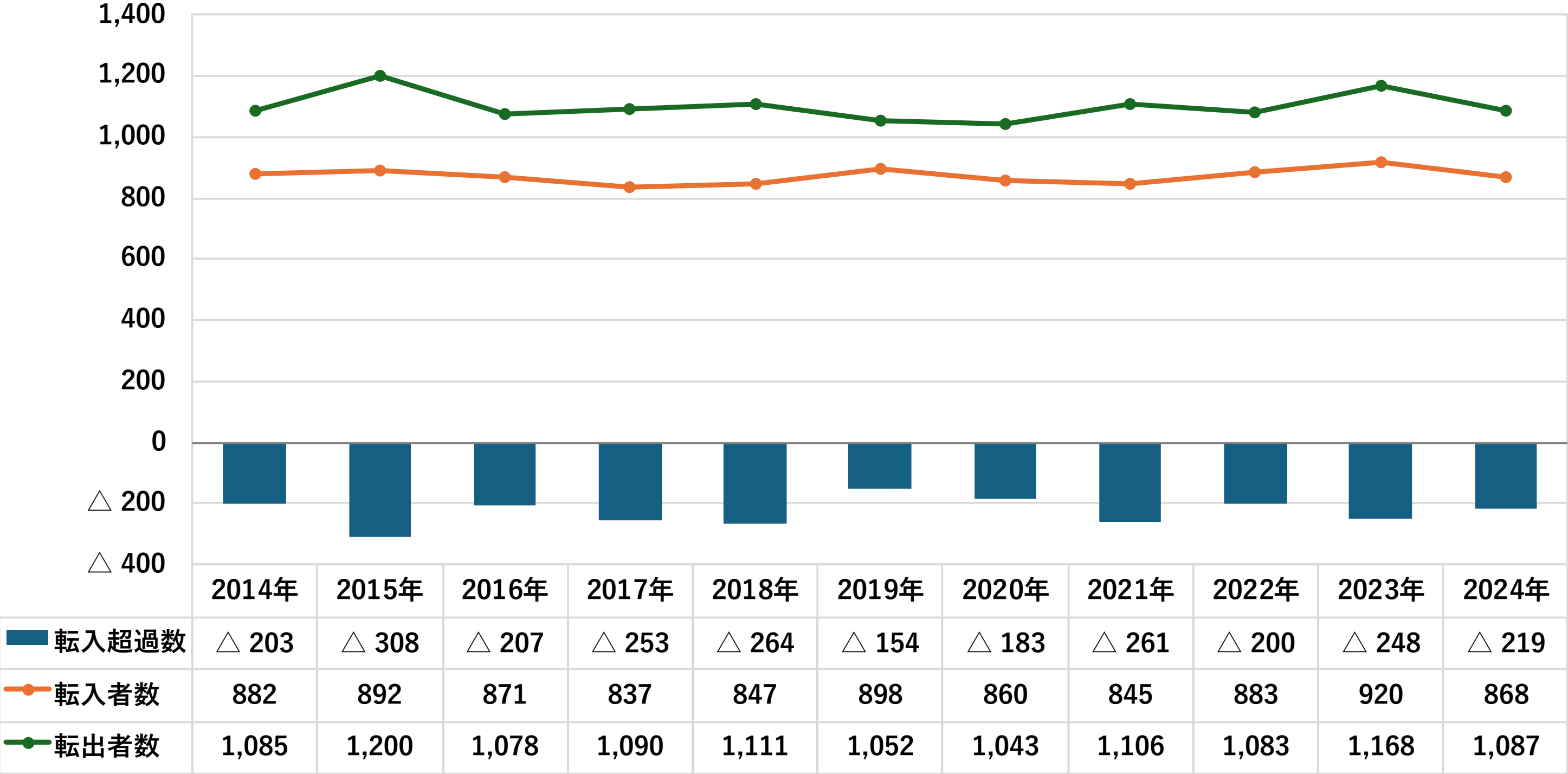


人口動態差引増減 住民基本台帳

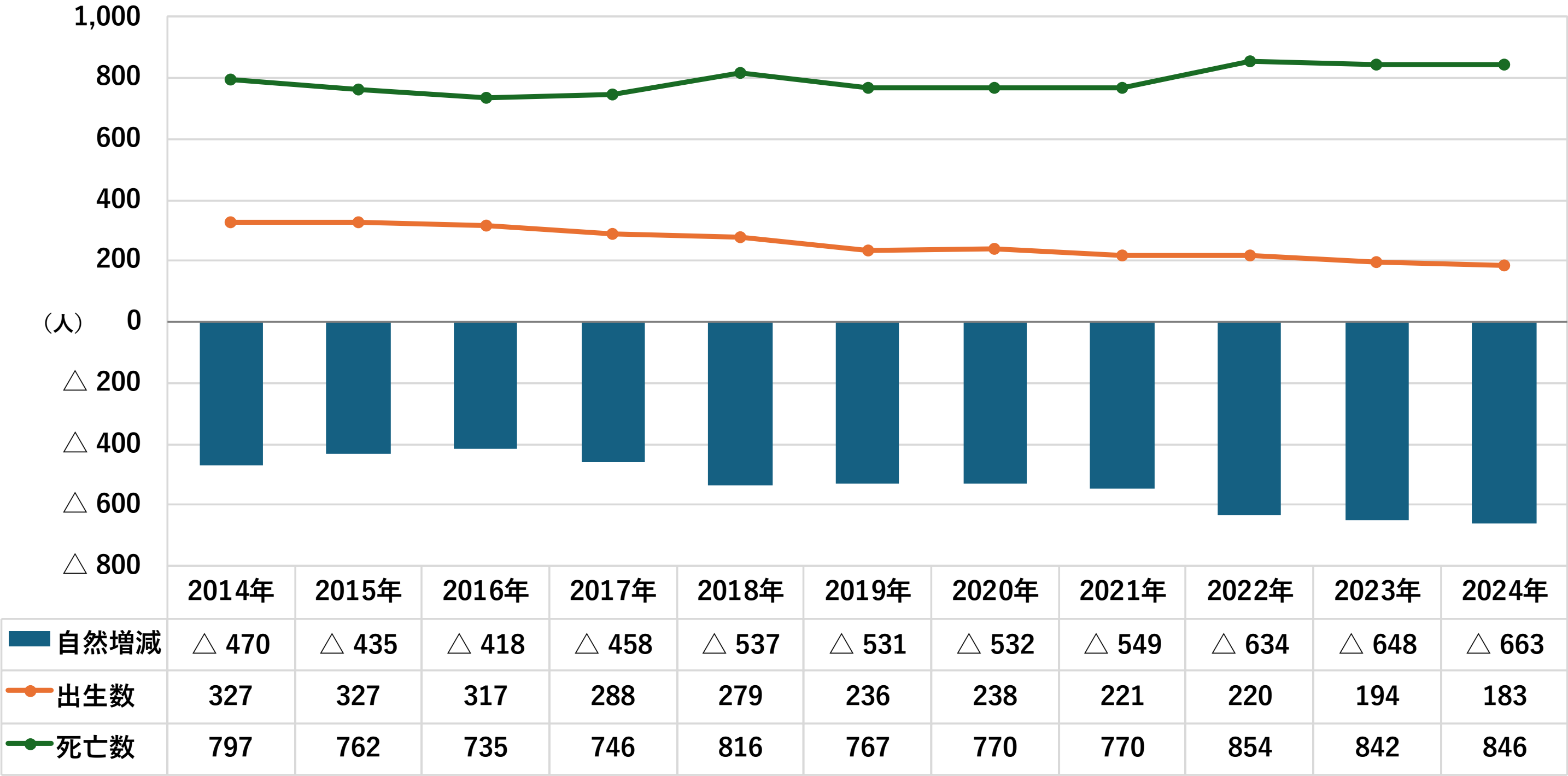


	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
—自然動態_男_合計	-226	-290	-218	-259	-326	-268	-388
—自然動態_女_合計	-264	-290	-268	-312	-381	-327	-369
—社会動態_男_合計	-99	-104	-61	-81	-166	-88	-48
—社会動態_女_合計	-153	-100	-66	-162	-110	-148	-134

転入・転出者数の推移



出生数・死亡数の推移

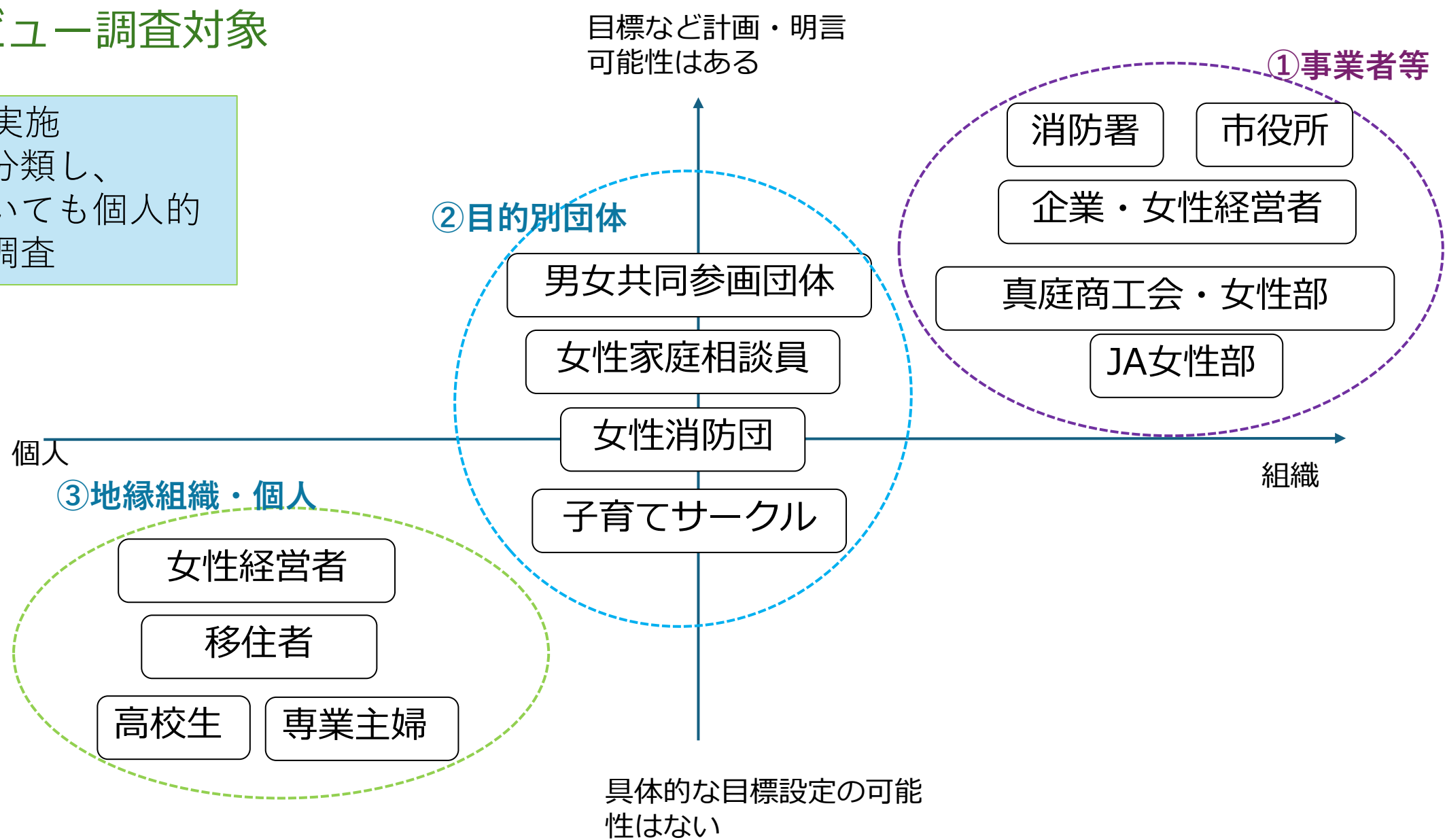


# 現状と課題

真庭市第5次男女共同参画基本計画に向けて、真庭市の課題を、国自治体等資料情報からの分析、及びインタビュー調査によるナラティブな言説の分析により明らかにすることを目的としました。

## インタビュー調査対象

40件60人実施  
①②③に分類し、  
①②についても個人的な意識を調査





# インタビュー概要

## ◆具体的なインタビュー対象者 60人

10歳代：8人、20歳代：3人、30歳代：9人、40歳代：12人、50歳代：14人、60歳代：10人、70歳代：4人

## ◆実施時期（R7.7.30～R7.9.19）

7/30… 個人インタビュー：1人

8/1～8/10 … 個人インタビュー：4人 グループインタビュー：2件（5人）

8/11～8/20… 個人インタビュー：13人

8/20～8/31… 個人インタビュー：9人 グループインタビュー：7件（17人）

9/1～9/19 … 個人インタビュー：4人 グループインタビュー：：1件（7人）

## ◆インタビュー形式

個人インタビュー

グループインタビュー

1時間半から2時間

対面インタビュー、またはオンラインインタビュー（くらし安全課立ち合い参加）

## ◆インタビューイー（インタビュー実施者）

株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング

真庭市くらし安全課

## 課題間のつながり（因果関係）

図の見方

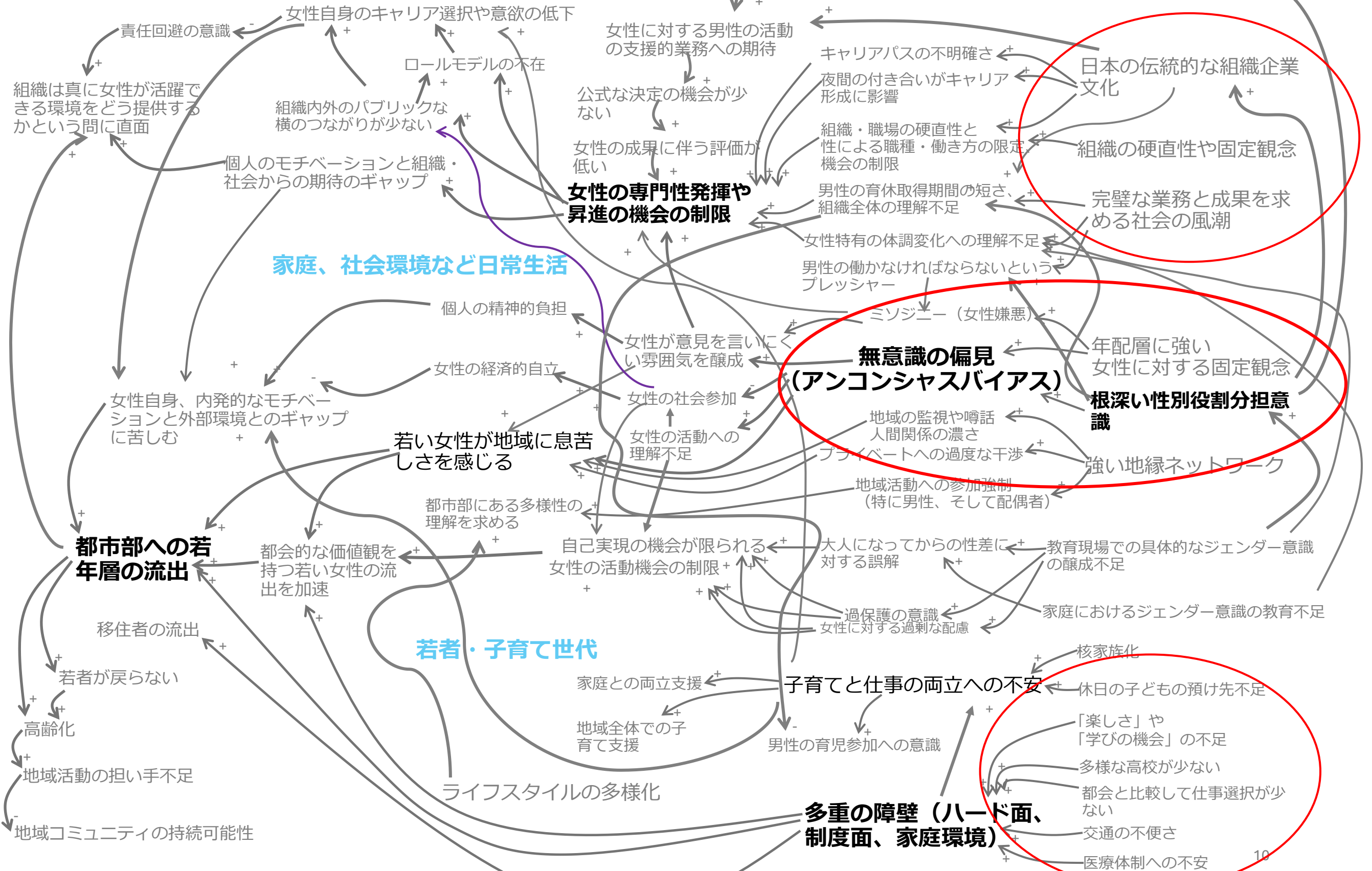
・矢印が因果関係を示す

・矢元が原因、矢先が結果

・+（プラス）マークは「矢元の変数が増えると矢先も増える」「矢先の変数が減ると矢先も減る」という関係を示す

・-（マイナス）マークは「矢元の変数が増えると矢先の変数が減る」「矢元の変数が減ると矢先の変数が増える」関係を示す

### 企業など組織



# 因果関係分析：企業など組織における課題

## 表層的な問題（現象）

### 女性の参画機会の不足とモチベーションの低下

女性管理職  
比率の低さ

団員・職員  
不足

活動機会  
の制限

「女性活躍」  
への違和感

個人の成果が「女  
性全体」に帰属

メンタルヘル  
スの課題性

地域活動におけ  
る男女の偏り

シングルマザー  
への古い価値観

## 中間的な課題（構造・環境）

### 組織文化と制度のギャップ

組織内の過剰  
な配慮と機会  
の制限

「女性活  
躍」という  
言葉の先行

ロールモデ  
ルの不在

ハラスメント意  
識の「形式化」

組織のトップダウ  
ン型意思決定

地域コミュニ  
ティの閉鎖性

女性登用にお  
ける部署間の  
温度差

評価制度の  
不透明性

## 根本原因

### 根深く存在する性別役割分担意識と旧来の価値観

年配層の  
固定観念

男性優位の  
社会構造

無意識の偏見  
(アンコンシャス  
・バイアス)

女性自身の  
「責任回避」傾向

ライフイベントへ  
の配慮不足

キャリアパス  
の不明確さ

# 因果関係分析：家庭、社会環境など日常生活における課題

## 表層的な問題（現象）

若年女性の「息苦しさ」と流出

家庭・地域における男女間の負担の偏り

地域コミュニティの維持困難と孤立（移住者、生活困窮者、DVや子どもの危機）

## 中間的な課題（構造・環境）

女性の社会参画・キャリア形成を阻む構造

地域活動の担い手不足と世代間ギャップ

生活インフラ・サポート体制の課題

## 根本原因

伝統的な性別役割分担意識の定着

閉鎖的・同質性の高い地域コミュニティ

都会との情報・機会格差

# 因果関係分析：若者・子育て世代における課題

## 【若者の都市部への流出】

### 表層的な問題（現象）

都会に比べて  
交通の便が悪い

都会に比べて  
学びの機会が少ない

### 中間的な課題（構造・環境）

地域におけるエンターテインメントや多様な商業施設不足

公共交通網の脆弱性

進学先の選択肢の限定性

### 根本原因

都市部と比較した  
真庭の規模による  
構造的なサービス・機会の不足

人口減少・高齢化による公共交通網の維持困難

地域全体としての  
若者のニーズへの  
対応力の不足

# 因果関係分析：若者・子育て世代における課題

## 【男女の性差認識と教育】

### 表層的な問題（現象）

大人になってからの男性の女性への過剰な配慮

学力における男女差の統計は基本的に取り立てられておらず、現場で特に意識されることもない

### 中間的な課題（構造・環境）

性差に関する体系的な教育機会の不足

教育現場における男女差に関する意識の希薄さ

発達段階に応じた性教育の難しさ

### 根本原因

性差への認識の実態と男女共同参画社会への移行期における男女平等意識に対する社会の変化とのギャップ

性教育に対する社会全体のコンセンサス不足



# 因果関係分析：若者・子育て世代における課題

## 【子育てと仕事の両立、家族のサポート】

### 表層的な問題（現象）

育休明けの仕事と子育ての  
両立に不安といったメンタ  
ルヘルスの高い課題性

両親の協力が子育てに  
不可欠

### 中間的な課題（構造・環境）

育児と仕事の  
両立を支える  
社会制度や職  
場の理解不足

地域における多様  
な子育て支援サー  
ビスの不足

### 根本原因

伝統的な性別役割分担意識の根強さ

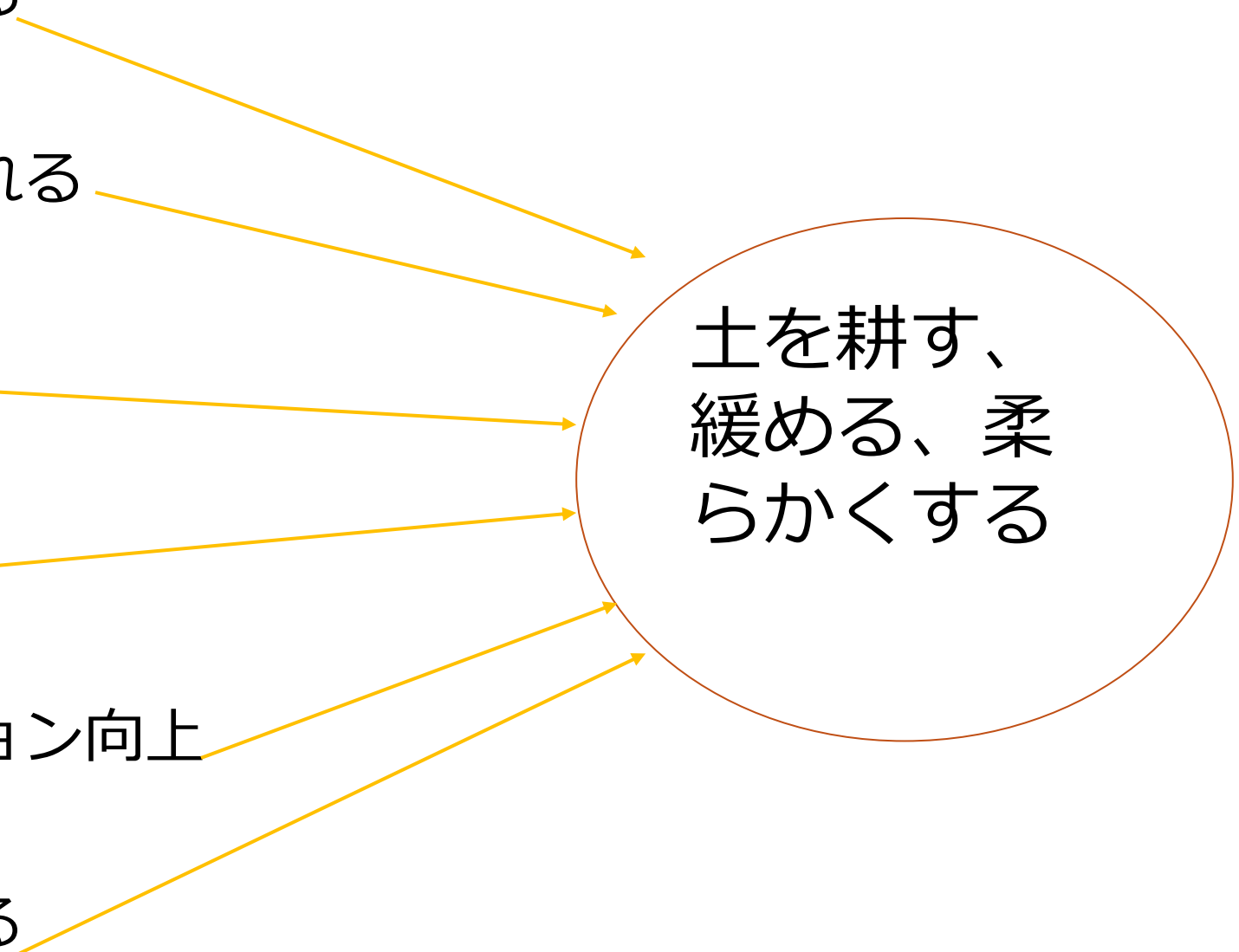
子育て支援制度の不十分さや周知不足

# 女性が組織において登用されることのメリット

⇒「土の栄養＝固まった土を耕す、緩める、柔らかくするもの」

女性登用について、インタビューでは以下のメリットがあげられました。

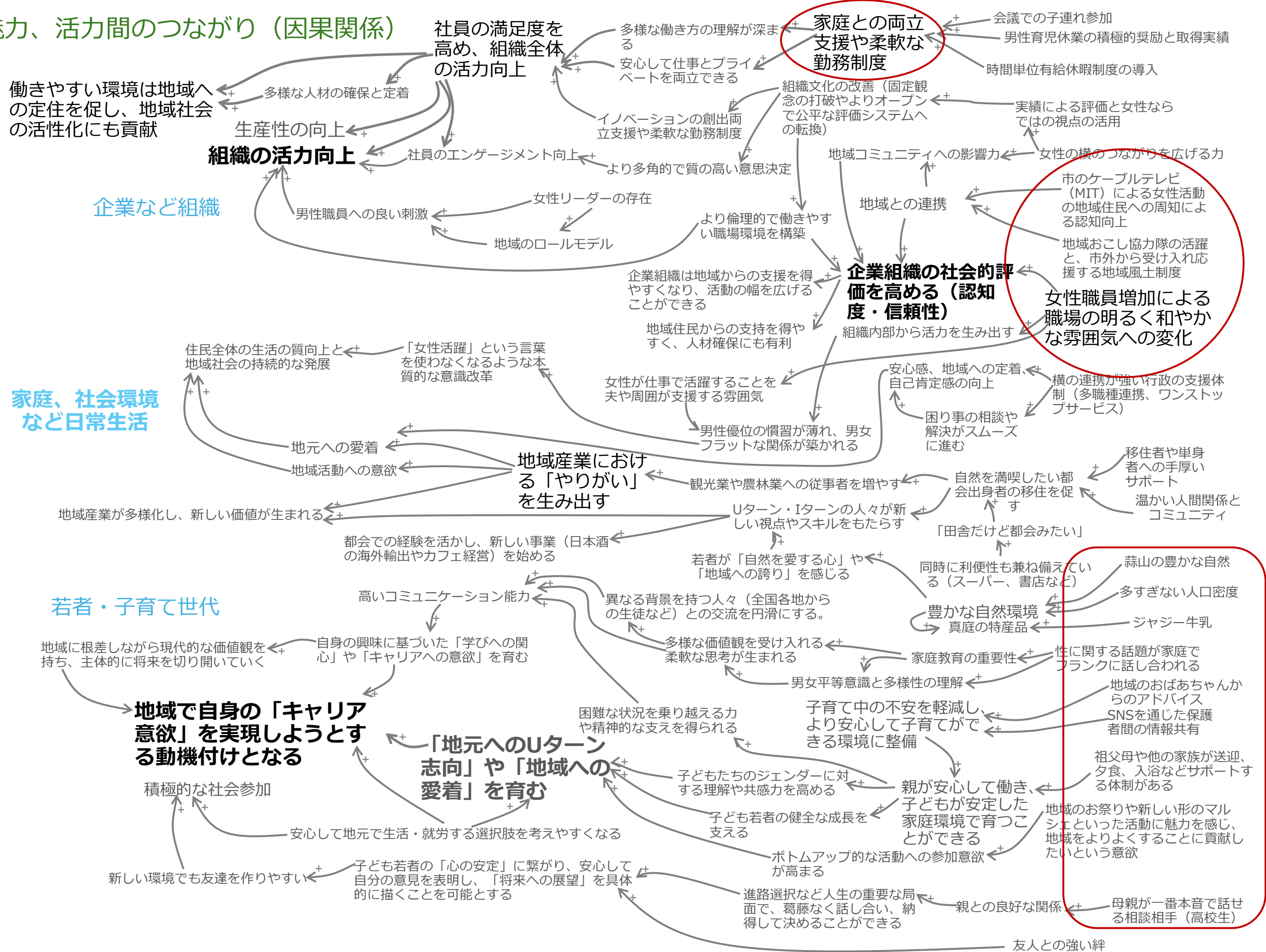
- 多様な視点とアイデアの導入につながる
- 職場の雰囲気改善と活性化が促進される
- 地域住民や顧客との関係性強化
- 組織体制の柔軟化と働き方改革の推進
- 組織内外からの評価向上とモチベーション向上
- 物理的な制約への対応と工夫がなされる



土を耕す、  
緩める、柔  
らかくする



真庭の魅力、活力間のつながり（因果関係）



## 目指す姿

インタビューでは、真庭の生活や自身の現状について、10点満点で点数づけをしていただき、その点数と満点10点に至る改善策を伺いました。その内容から、真庭のめざす姿（かぶ）を分析しました。

（結果）

真庭市は、多様な価値観を認め合い、誰もが自分らしく輝ける「**共創と尊重のまち**」を目指す。

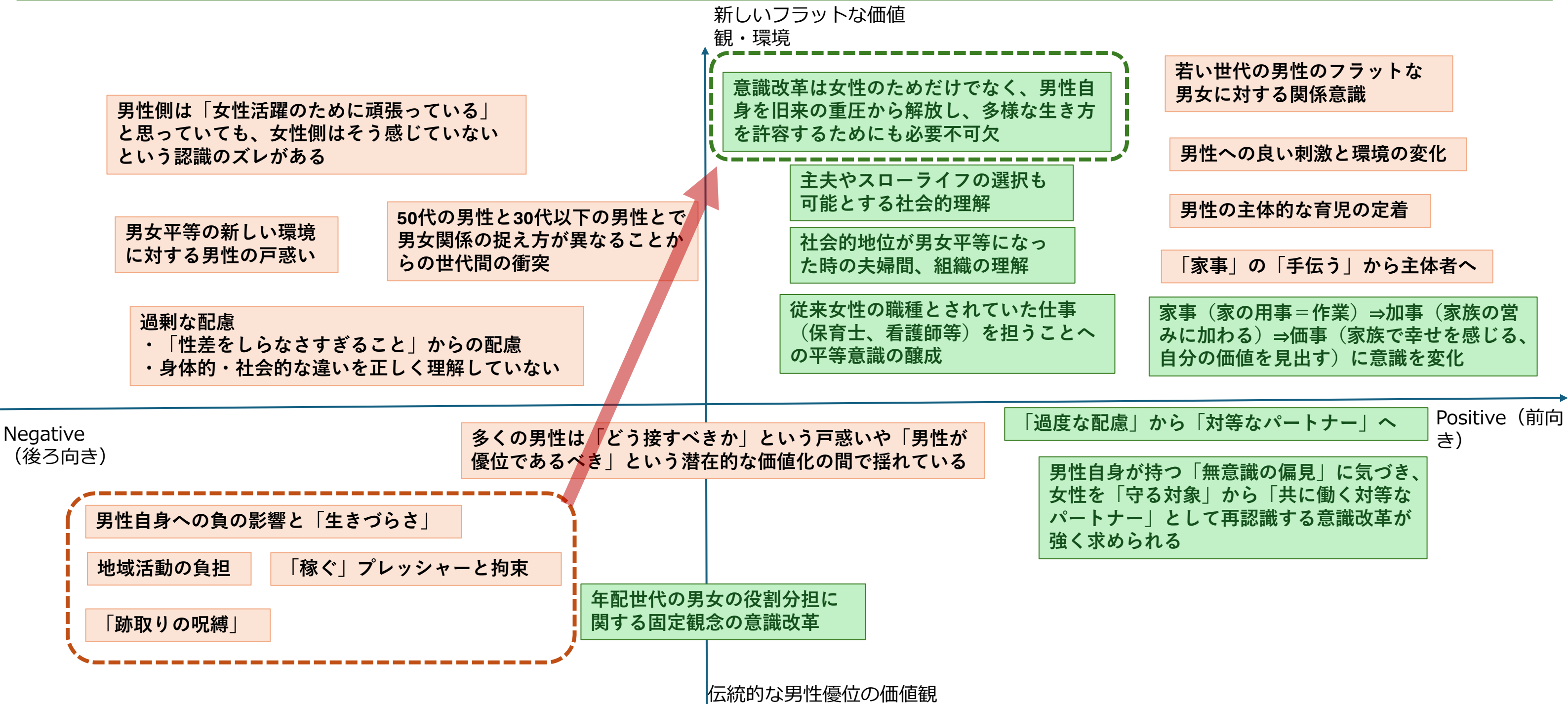
個々人の目指す姿（かぶ）：

真庭市に暮らす人々が、日々の生活の中で「**やりたいことができ**」「**笑顔で暮らせ**」「**仕事にやりがいを感じ**」「**困った時に助け合える**」**安心で豊かな未来**

真庭市の男女共同参画活動を主とする団体は、30年前は、女性が家庭の外へ出ていくことを目標として活動されていたとのこと、しかし、現在の女性は、仕事や社会活動での個人としての生きがいを求めており、男女の性差は理解しつつも、個々人、多様性を重視した啓発の場、機会が重視されるようになっていくことがインタビューから分かりました。そこで、真庭市の女性活躍を、単に職業人として活躍することと捉えるのでよいのかなど、あらためて真庭市における「女性活躍」の言葉についてどのように思うか、感じるかをインタビューでは尋ねました。その結果、「女性活躍」の言い換えや再定義が必要であることが分かりました。

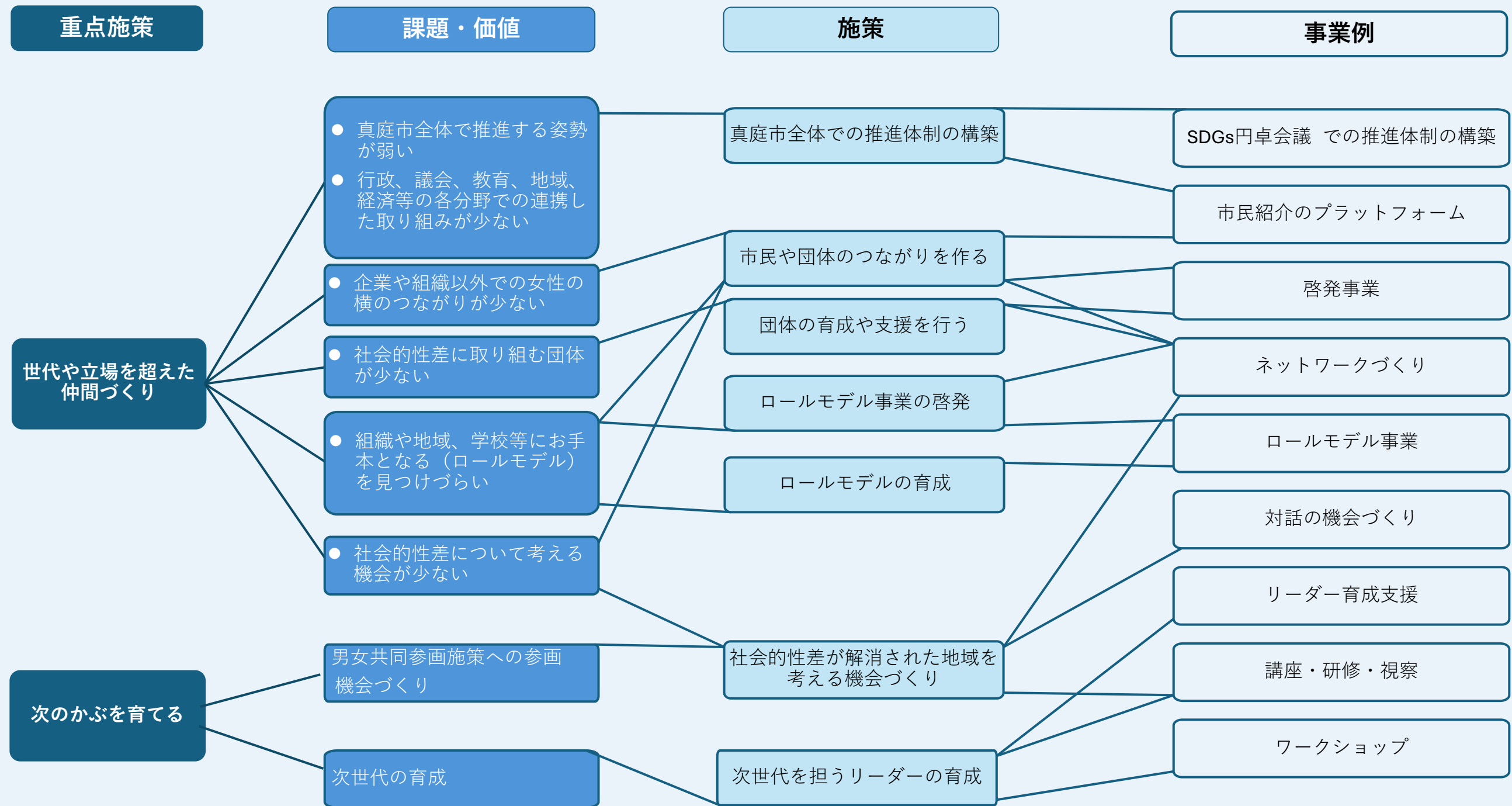
伝統的な男女役割分担の価値観は、男性の生きづらさやプレッシャーも生んでいる。男女フラットな意識改革は男性自身の旧来の重圧から解放する

図の 〇〇 : 影響と課題 〇〇 : 意識改革



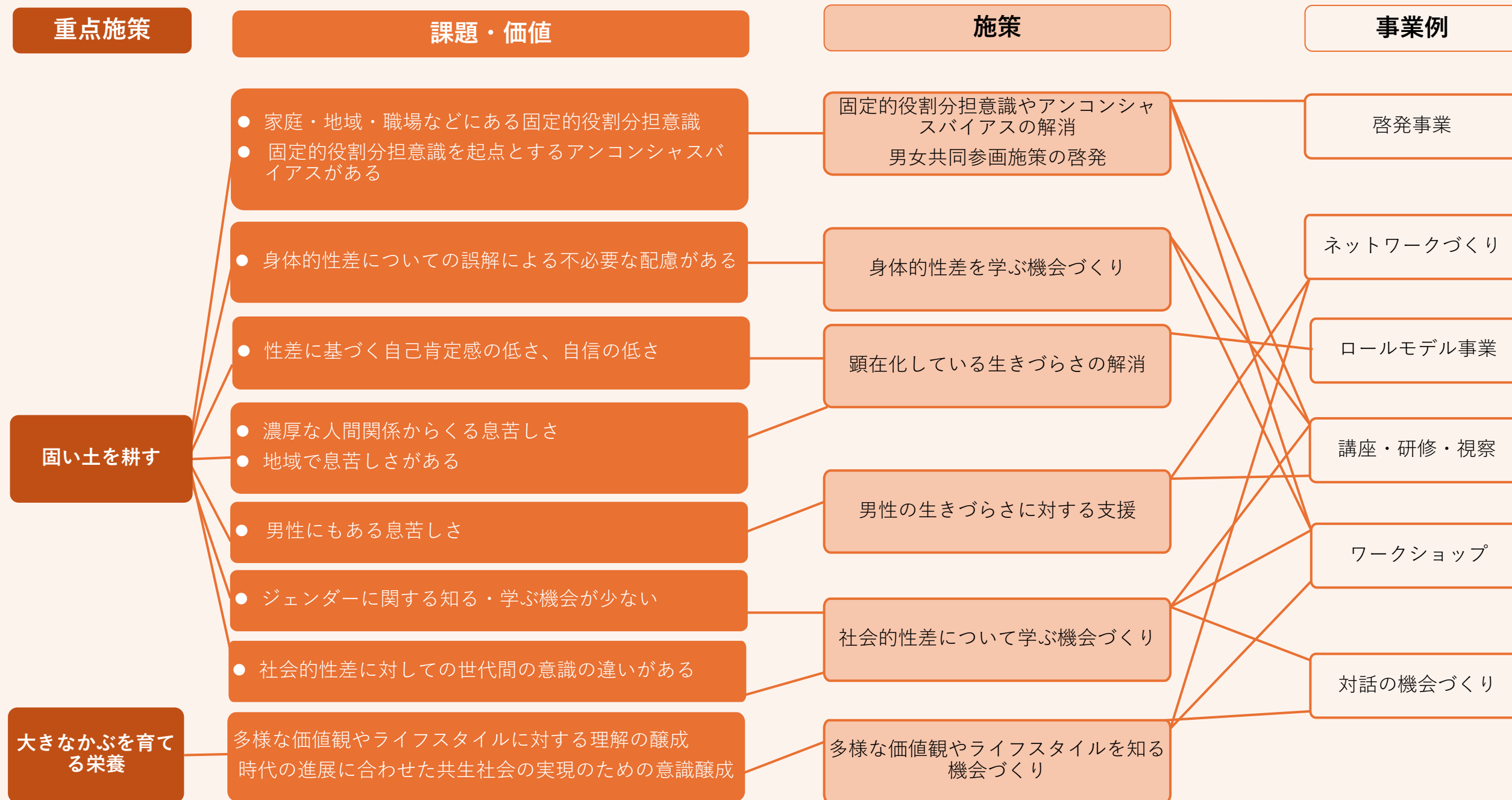
# 重点施策 整理表

## 【仲間】人・つながり・協働のしくみ





## 【土】意識・文化・考え・慣習



## 【石】社会の制度・構造、環境

### 重点施策

### 課題・価値

### 施策

### 事業例

土の石をなくす

● 家庭内の暴力（DV）

● 意思決定の場への性差の偏り

● キャリア形成の不明確さ

● 子育て・介護、地域と家庭の両立の困難さ

● 職種や働き方の性差による偏り

配偶者等からの暴力の根絶

積極的な性差の偏りの是正

賃金格差や採用格差などの社会  
構造化している社会的格差の解  
消

社会構造の見える化

啓発事業

ネットワークづくり

ロールモデル事業

講座・研修・視察

マネジメント研修

相談支援事業

キャリア形成支援

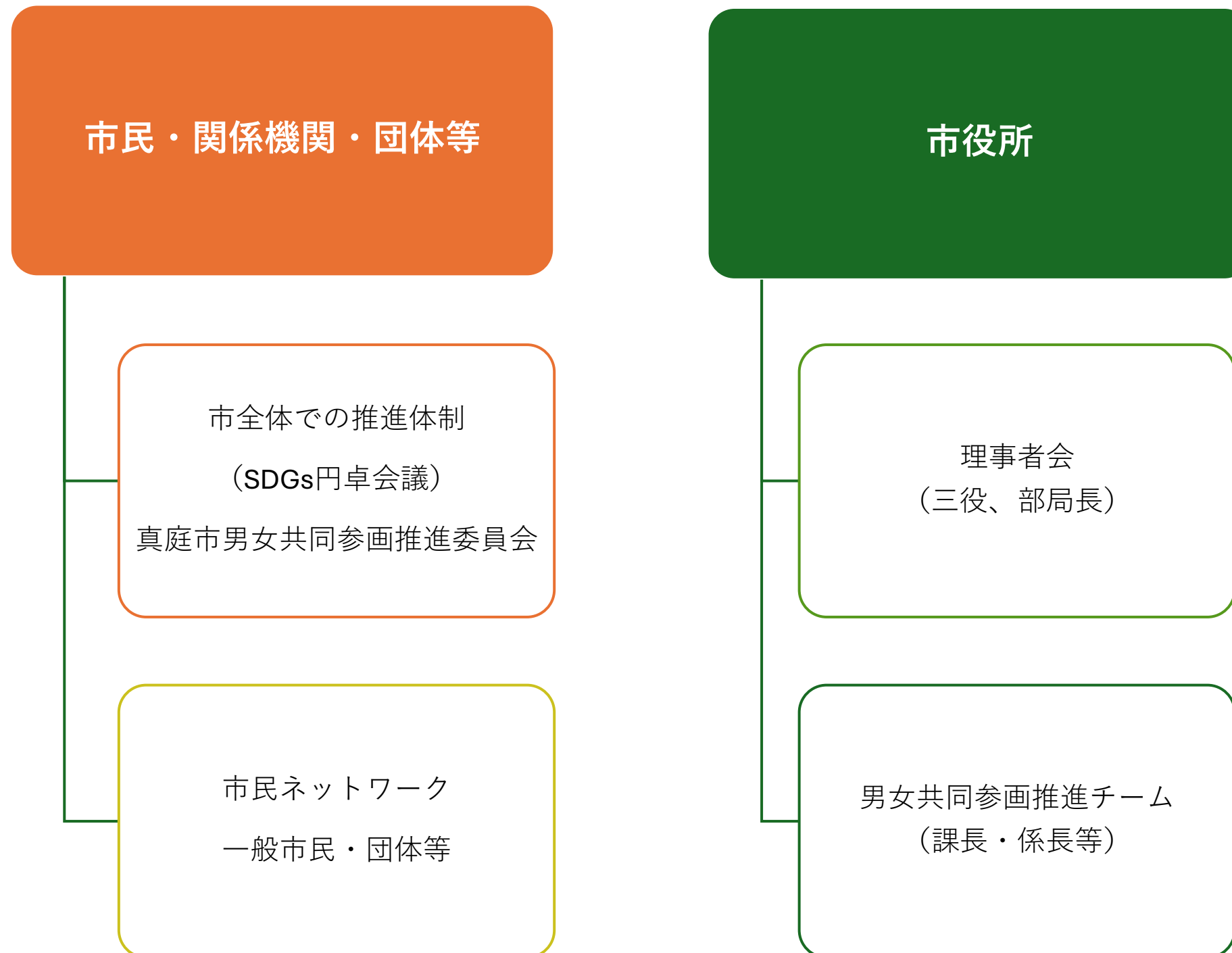
団体・事業所認定

社会構造調査事業

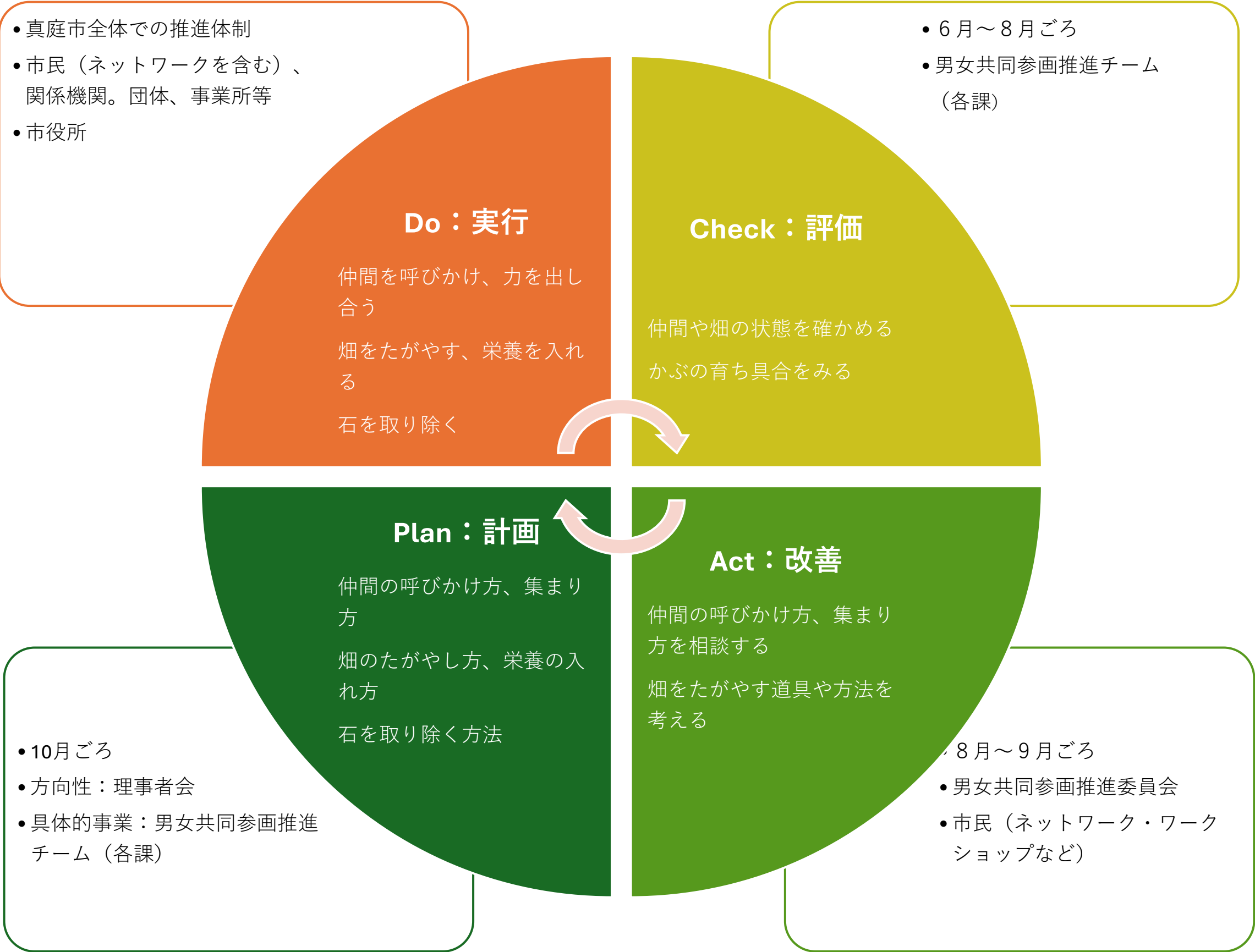
# 推進体制

議論全体から、単一の主体や部門だけで地域課題を解決することは困難であり、行政内部の部署間連携、行政と地域住民、民間企業、NPO、さらには多世代の人々との重層的かつ柔軟な連携が強く求められていることが浮き彫りになりました。特に、課題ごとに最適なパートナーを見つけ出し、それぞれの強みを活かしながら、具体的な仕組みやネットワークを構築していく視点が重要であると言えます。

## 推進体制図（案）



CAPDサイクル図（案）





# 成果指標

## 施策と事業のロジックツリー

文字のみ = 施策

／   = 事業

